



第1回団体交渉での会社スタンスは、 ベアゼロ、定昇2カットの21春闘と同様との危機感！

21春闘、22春闘における第1回団体交渉で述べられた会社の現状認識の特徴

21春闘

- ・いわゆるベースアップを含む基準内賃金の引き上げについては、長期にわたり総額人件費に多大な影響を及ぼすため、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向を踏まえ、慎重な判断が必要である。
- ・基本給についても、中長期的な経営見通しを踏まえて、環境変化に対応するため、生産性向上に対する社員の貢献への成果配分といった観点を基本とし、様々な要素を踏まえて、毎年度の経営状況を勘案して議論を経て決定するものである。

22春闘

- ・いわゆるベースアップ、**定期昇給**、基準内賃金の引上げは、長期にわたり総額人件費に多大なる影響を及ぼすことから、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向を踏まえた慎重な判断が必要である。
- ・基本給については、中長期的な経営見通しを踏まえて、環境変化に対応するための生産性向上に対する社員の貢献への成果配分といった観点を基本とし、様々な考慮要素を踏まえながら、毎年度の経営状況を勘案して決定するものである。

「職場の努力」「生計費」「物価上昇」等が現状認識で触れられていない！
職場の現実や声をさらに本部へ集約し、団体交渉をつくり出そう！！

意見集約10項目

- ① 「生活実感」について
- ② 「労働実感」について
- ③ 「モチベーション」について
- ④ 定期昇給「昇給係数2」カットについて
- ⑤ 第3四半期決算で運輸収入が計画を約290億円上回っていることについて
- ⑥ 2022年初、JR東日本幹部がメディアを通じ「ベースアップこれは非常に厳しい。」「定期昇給も普通の半分にしているので定期昇給をまずどうするのか。そこからの議論」とコメントしたことについて
- ⑦ 「第二基本給」について
- ⑧ 「65歳定年制」について
- ⑨ 第1回交渉での会社の回答の中にあつた22春闘に臨むにあたっての基本スタンスが「ベア0」「定昇2カット」であつた21春闘と同じことについて
- ⑩ その他

今の会社の認識の
ままではダメだ！



意見集約は**3月7日**までに JR 東労組役員
またはHP「22春闘緊急アンケート」まで！！